

川越比企保健医療圏「圏域別取組」関連施策推進状況調書

埼玉県地域保健医療計画(第7次)

令和2年2月

埼玉県川越比企保健医療圏地域保健医療・地域医療構想協議会

【目次】

(取組項目)

1. 生活習慣の改善を含む健康づくり対策の推進……	1-1 ~ 1-18	頁
2. 歯科口腔保健対策……	2-1 ~ 2-11	頁
3. 親と子の保健対策……	3-1 ~ 3-13	頁
4. 健康危機管理体制の強化……	4-1 ~ 4-14	頁
5. 精神保健福祉医療対策……	5-1 ~ 5-14	頁
6. 在宅医療の推進……	6-1 ~ 6-15	頁

(実施機関の調書掲載の順序)

○ 保健所、市町村、医師会、歯科医師会、薬剤師会

取組項目 1. 生活習慣の改善を含む健康づくり対策の推進

目標 ライフステージに対応した多様な健康づくりを展開し、特に、栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙等について、住民参加を基本に住民自らが生活習慣の改善に取り組める地域づくりを進めます。さらに、地区組織、ボランティア団体、大学等と協働し、地域全体で健康を支え合うことにより、健康長寿を目指します。

- 主な取組**
- 健康づくりに関する知識の普及啓発
 - 地域社会への参加、仲間づくりにつなげる健康なまちづくりの推進
 - 構成病をばいせんとする生活習慣病の発症予防と重症化予防
 - ライフステージに対応した健康づくりを地域で進めるための人材育成

<説明> 自己評価(主な取組状況・成果に対する評価。目標値が設定されている場合は、当該数値(推移)に対する評価をいう。) A:十分達成 B:概ね達成 C:やや不十分 D:不十分

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間:平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		自己評価(A~D)	今後の事業展開・課題等
					主な取組状況・成果(平成30年度)	目標値と実績値の推移 計画当初 H30		
1	坂戸保健所	1 地域・職域連携推進事業	市町職員等	<ul style="list-style-type: none"> ■管内市町職員等との連携強化 ■保健指導実務者等のスキルアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ■保健所管内健康課題対策会議の開催 1回 ■管内市町との連携が図られた。 ■保健指導実務者等へのスキルアップ講座の開催 3回 ■保健指導実務者等のスキルアップが図られた。 	-	B	<ul style="list-style-type: none"> ■関係者が連携して具体的な取組の実施にまで繋げていくことが重要。 ■協議会の効果的な運営体制の構築検討。 ■管内担当者との連携を密にし、地域の健康課題に対して継続して支援を行う。
2	坂戸保健所	2 生き生きと暮らすための社会環境の整備	県民	<ul style="list-style-type: none"> ■健康長寿サポーターの養成者数の増加 ＜目標値＞更なる増加(坂戸保健所管内) 	<ul style="list-style-type: none"> ■健康長寿サポーターの養成・養成講座 5回、養成人数 55人 ■「健康長寿サポーター」とは、自分の健康づくりに取り組むとともに、役に立つ健康情報を、家族、友人、周りの皆さまに広めていただく方 ■受講者には「健康長寿サポーター応援ブック(修了証)」を交付 	168	C	<ul style="list-style-type: none"> ■住民が主体的に生活習慣の改善に取り組める地域づくりが重要。 ■健康づくりのイベントや研修会を実施する中で、積極的に「健康長寿サポーター養成講習」を行う。
3	坂戸保健所	3 受動喫煙防止対策(参考)	飲食店 娯楽施設 事業所など	<ul style="list-style-type: none"> ■埼玉県受動喫煙防止対策実施施設等の認証数の増加(R1.6~) ＜目標値＞300施設(坂戸保健所管内) 	<ul style="list-style-type: none"> ■埼玉県受動喫煙防止対策実施施設の認証・法律を上回る対策に取り組み施設等を認証し、これを広めていくことにより、実行性のある対策を推進。 ※健康増進法の一部改正に伴い2019年7月1日から病院・学校等が敷地内禁煙となり、2020年4月1日からは飲食店等が原則屋内禁煙となることから、これまで「全面禁煙・空間分煙施設認証制度」を見直し、新たな認証制度を2019年6月1日開始。 	0	-	<ul style="list-style-type: none"> ■飲食店や事業所等とも連携し、地域全体で健康を支え合う体制づくりが必要。 ■食品営業許可更新説明会や食品衛生責任者実務講習会の機会を捉え、積極的に協力要請を行う。
4	東松山保健所	1 地域・職域連携推進事業	市町村等	<ul style="list-style-type: none"> ■管内市町村職員等との連携強化 ■保健指導実務者等のスキルアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ■保健所管内健康課題対策会議の開催 2回 ■管内市町村・事業所等との連携が図られた。 ■保健指導実務者等へのスキルアップ講座の開催 3回 ■保健指導実務者等のスキルアップが図られた。 	-	B	<ul style="list-style-type: none"> ■関係者が連携して具体的な取組の実施にまで繋げていくことが重要。 ■協議会の効果的な運営体制の構築検討。(坂戸保健所と要協議) ■管内担当者との連携を密にし、地域の健康課題や重症化予防に対して継続して支援を行う。 ■健診受診率の向上、より効果的な特定保健指導の実施等様々な課題に対し、その具体的な取組を支援していく方策を講じていく必要がある。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間:平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		自己評価(A~D)	今後の事業展開・課題等
					主な取組状況・成果(平成30年度)	目標値と実績値の推移 計画当初 H30		
5	東松山保健所	2 生き生きと暮らすための社会環境の整備	県民 市町村等	<ul style="list-style-type: none"> 健康長寿サポーターの養成 5回、養成人数 18人 受講者には「健康長寿サポーター応援ブック(修了証)」を交付 各ライフステージに応じた人材育成。8回 317人 研修会(減塩対策、アレルギー、高齢者支援等) 市町村健康増進関連計画(健康増進・食育・歯科等)の策定及び進行管理の支援 6回 6人 	341	B	<ul style="list-style-type: none"> 住民が主体的に生活習慣の改善に取り組める地域づくりが重要。 生活習慣病の発症予防・重症化予防のためには、若い世代からの取組が重要である。子どもへの食育や動き盛り世代が健康づくりに取り組めるような環境づくりに取り組む必要がある。 健康増進計画や食育推進計画、データヘルス計画等と連動し地域の生活習慣病予防対策を進めていく必要がある。 在宅高齢者の増加も見込まれることから、健康長寿を目指し高齢者への食生活支援も併せて行っていく必要がある。 健康づくりのイベントや研修会を実施する中で、積極的に「健康長寿サポーター養成講習」を行う。 	
6	東松山保健所	3 受動喫煙防止対策	飲食店 娯楽施設 事業所など	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県受動喫煙防止対策実施施設の認証(R1.6~) 受動喫煙対策に向けた啓発・指導・助言 目標値>320施設(東松山保健所管内) 	0 参考:全面禁煙・空間分煙実施施設認証制度(R1.6月末まで)125施設	-	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店や事業所等とも連携し、地域全体で健康を支え合う体制づくりが必要。 食品営業許可新規・更新時や食品衛生責任者実務講習会の機会を捉え、積極的に協力要請を行う。 その他保健所が行う許可申請の際、周知・啓発を行う。(主に事業所) 	
7	川越市	1 健康づくり事業の推進	市民	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育の実施 開催回数 619回 運動・栄養・歯科等の教室を実施した。 ラジオ体操マスター講習会 開催回数 2回 	-	B	<ul style="list-style-type: none"> 市民が主体的に生活習慣の改善に取り組めるような環境づくりが重要。 	
8	川越市	2 地域全体で健康を支える体制の推進	市民	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進協議会の開催 健康づくり推進協議会の開催 2回 健康まつりの開催 1回 市民が主体的に健康づくりに取り組むことが出来るよう、市民・関係団体・市などが相互に連携し、協働して推進するための協議を行った。 	-	B	<ul style="list-style-type: none"> 関係者が連携して具体的な取組にまで繋がっていくことが重要。 	

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		自己評価(A~D)	今後の事業展開・課題等
					主な取組状況・成果(平成30年度)	目標値と実績値の推移 計画当初 H30		
9	川越市	3 糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防 ・特定健康診査	川越市国保加入者の40歳以上の者	■特定健康診査受診率 <目標値> 42% (H30)	■特定健康診査の実施 (新たな取組み) ・平成30年度から胃がん検診との同時実施を実現 ・ポスター掲示、チラシの配布場所の拡大(市内鉄道の駅、シャトルバス)	40.7% (H28年度末)	41.9%	■健診受診率の向上(毎年度2%増を目標) ■インセンティブの提供(R1から実施。受診者の中から抽選でプレゼント) ■啓発の機会を増やす(ポスター掲示、チラシ配布場所の拡大) ■受診率を地区別に示し、特に受診率の低い地区へ受診勧奨を行う。 ■診療情報提供事業の実施(県の事業への参加 R2予定)
10	川越市	4 糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防 ・特定保健指導	特定健康診査の結果、特定保健指導に該当した者	■特定保健指導実施率 <目標値> 16% (H30年度)	■特定保健指導の実施 (新たな取組み) ・指導の成功例を記したチラシを作成し、対象者へ利用券とともに郵送。 ・外部講師を招いた、特定保健指導従事者への研修会の開催	14.0% (H28年度末)	14.7%	■特定保健指導実施率の向上(毎年度2%増を目標) ■開催場所の拡大。利用者が参加しやすい場所での開催(R1から実施) ■啓発の機会を増やす(実施医療機関にポスター掲示、チラシ配布機会の拡大) ■地区へ出向いた相談会の実施 ■従事者の資質の向上(研修の継続開催)
11	川越市	5 糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防 ・糖尿病性腎症重症化予防事業	国保加入者の20歳以上の者のうち、糖尿病の重症化のリスクが高い者	■新規人工透析移行者数減少率 <目標値> 1%減少 (H30年度)	■糖尿病性腎症重症化予防事業の実施(埼玉県、国保連、市町村の共同事業に参加) (主な取組み) ・未受診者、受診中断者への受診勧奨 ・保健指導の実施	(H28年度末・85人)	1%増加 (86人)	■新規人工透析移行者の減少(毎年度1%減少を目標) ■保健指導参加者を増やすため、医療機関へ事業参加を呼びかける(説明会の開催) ■腎臓病に関する市民への講演会の開催(対象者のみならず、多くの市民を対象に啓発を行う)
12	坂戸市	1 地域資源と連携した健康づくりの推進	市民	■出前講座等への参加者数 ■葉酸プロジェクト参加者数(H18~)の増加	■市民ボランティアとの協働による健康づくりの推進 ・健康づくりボランティア「元気にし隊」との協働により、健康に関する出前講座等を実施した。12回 1,774人 ・市内百貨店における健康チェック(体脂肪測定、血管年齢測定)を実施した。参加者数 延べ 500人 ・坂戸市葉酸プロジェクトの推進 ・女子栄養大学と協働で、認知症のリスクとなる動脈硬化の予防に効果があると思われるビタミン「葉酸」の摂取の推進を促すセミナー等を実施した。 実施回数 13回 延べ418人	13回 1,104人 (29年度)	12回 1,774人	■市民ボランティアの自発的な健康づくりの実践に向けた支援を継続する必要がある。 ■葉酸の働きについて理解し、食生活で積極的に摂取する市民を増やすため、様々な機会を捉えた周知を図る必要性がある。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (平成30年度)		目標値と実績値の推移		自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
					計画期間:平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)	計画当初	計画当初	H30		
13	坂戸市	2 健康な心と身体を育む食育の推進	市民	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり応援店認定店舗・認定品数の増加 家庭で実践できる内容であったか(参加者アンケート) 参加者のCKDSステージ維持改善率 	<ul style="list-style-type: none"> 食を通じた健康づくり応援店普及促進事業の推進 食の環境整備及び市内産品の振興を図るため、市内飲食店において、健康に配慮したメニューや食品を提供する店舗を「食」を通じて健康づくり応援店として認定した。 体験型食育講座の開催 バランスの良い食事の組合せや作る楽しさの体験を目的に、食を通じて健康づくり応援店の協力により、料理教室を開催した。2回 41人 人工透析予防対策事業 人工透析患者の増加を抑制するため、女子栄養大学と連携し、慢性腎臓病予防に取り組みとともに、個別相談を実施した。 慢性腎臓病予防講演会 参加人数 82人 慢性腎臓病予防の食事教室 2回 参加者数 延べ35人 	<ul style="list-style-type: none"> 43店舗・89品(29年度末) - 110人 56人(29年度) 	<ul style="list-style-type: none"> H30 47店舗・91品 習った料理を家庭で作ってみたい方の割合 94.4% CKDステージ維持改善率 80% 	C	<ul style="list-style-type: none"> 店舗の廃業やメニューの提供の中止により店舗数・品目数が増減している。今後、健康づくり応援店のさらなる周知を図る必要がある。 「プロに学べる」ということに興味を持った参加者が多いため、今後も引き続き、健康づくり応援店の協力をいっただき展開したい。 CKDステージ維持改善率の評価はH29年度の講演会、食事教室参加者のうち、比較ができた25名について行った。 	
14	坂戸市	3 特定健康診査・特定保健指導の実施	市民	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査受診率 < 目標値 > 40% 特定保健指導実施率 < 目標値 > 16% 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査 6月～11月に実施 特定保健指導 市の教室と委託による方式で実施 	<ul style="list-style-type: none"> (法定報告) 特定健康診査受診率 38.0% 特定保健指導実施率 11.7%(29年度) 	<ul style="list-style-type: none"> (法定報告) 特定健康診査受診率 39.4% 特定保健指導実施率 8.8% 	B	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査については、受診率が1.4ポイント上昇し、受診率向上のための取組に成果が出ている。 特定保健指導については、2.9ポイント実施率が減少することとなった。より積極的な実施率向上対策を取り組む予定である。 	
15	鶴ヶ島市	1 健康づくりの推進	市民	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり実践者の増大 健康づくり普及に係るリーダーの育成 健康づくりに関する知識の普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> コパトン健康マイレージ参加者数 H29年度:892人 H30年度:1,135人 ウォーキング等健康づくり実践者の拡大が図れた。 定例健康ウォーク開催(新規) H30年度:10回(延べ204人参加) 人材育成 元気なまちづくりリーダー養成講座(6回コース) H29年度:21人修了 H30年度:12人修了 食生活改善推進員養成講座(7回コース) H29年度:9人修了 H30年度:7人修了 健康づくり講演会(フレイル予防講演会)開催予定 食育・栄養講座 H29年度:4回(246人参加) H30年度:2回(148人参加) 	-	-	B	<ul style="list-style-type: none"> 事業参加をきっかけに個人の健康づくりの視点の広がりを持たせられる支援や健康づくりの習慣化にむけた支援が必要である。 講演会開催等による知識の普及啓発を切り口に健康づくりの意識の向上を図る。 	

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (平成30年度)		目標値と実績値の推移		自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
					計画当初	H30				
16	鶴ヶ島市	2 特定健康診査の実施	<p><特定健康診査> 40~74歳の国民健康保険被保険者 <特定健康診査の指導> 40~74歳の国民健康保険被保険者のうち特定健康診査の結果により対象となった者</p>	<p>■特定健康診査受診率 <目標値> 特定健康診査受診率 60% ■特定健康指導利用率 <目標値>特定健康指導利用率60%</p>	<p><特定健康診査> ■坂戸鶴ヶ島医師会の医療機関と保健センターで実施。 ■坂戸鶴ヶ島医師会の医療機関で特定健康診査を実施。受診者 4,602名 ■対象者に合わせた受診勧奨はがきの送付 3,859通 ■早期受診者キャンペーン 8月末までに健康診査を受診し、結果を保健センターに持参した方にオリジナル工コハンを送呈 22名 <特定健康指導> ■坂戸鶴ヶ島医師会の医療機関と保健センターで実施 保健指導利用率(動機づけ支援+積極的支援) 17.3% 動機づけ支援利用率 18.8%、積極的支援利用率 9.9% ■受診勧奨ハガキの送付 329通 ■電話による利用勧奨 862回</p>	<p><特定健康診査> 40% <特定健康指導> 22%</p>	<p><特定健康診査> 36.6% <特定健康指導> 17.3%</p>	C	<p><特定健康診査> ■受診率が下がっている原因の詳細な分析が必要。 ■AIやマーケティングを活用した受診勧奨を委託によって実施する。 ■除加入時の窓口での案内を充実させる。 ■特定健康診査に準じた健康診査を実施している者の健康診査の取組を強化する。 ■受診しやすい仕組みづくりとして受診券の再発行をwebですることができるようにしたり、予約しにくい受診できる医療機関を増やせるように医師会に協力を求める。 <特定健康指導> ■利用券送付・利用勧奨を工夫する。 ■集団指導の内容を検討する。</p>	
17	毛呂山町	1 特定健康診査・特定健康指導の実施	40~74歳の国民健康保険加入者	<p>■特定健康診査受診率・特定健康指導利用率 <目標値> 特定健康診査受診率45.0% 特定健康指導利用率45.0%</p>	<p>■特定健康診査の実施 ・複教会場での健康診査 土日実施等、対象者が受診しやすい体制づくりに努めた。 ・がん検診、肝炎検診、歯周病健診等との同時実施日を設定。また、レディース健診を実施した。 ・年度当初、全対象者に健康診査に関する意向確認調査を実施。その後、回答の無い者に対して複数回の勧奨通知。 ・①当年度集団健診申込者のうち当日欠席者、②前年度個別健診受診者のうち当年度未申込者に対して、個別健診受診券を送付し受診勧奨。 ・健診を希望しない者のうち医療機関定期受診者に対して、診療情報提供依頼。 ■特定健康指導の実施 ・集団健診当日に、腹囲・BMI・血圧の値が保健指導域に該当する者に対して保健指導初回面接を実施。 ・61歳以上の保健指導対象者には、健診結果を手渡しすると同時に初回面接を実施(健診当日に保健指導を実施していない者のみ対象)。初回面接は教室・個別面接・訪問等、複数の形式で行い、できるだけ対象者の都合に合わせて実施できるよう努めている。</p>	<p>45.0%</p>	<p>47.9%</p>	A	<p>■特定健康診査受診率・特定健康指導利用率の更なる向上を目指し、現在の取り組みに加えて、各種勧奨通知内容の工夫・改善に努める。</p>	

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
					主な取組状況・成果 (平成30年度)	目標値と実績値の推移 計画当初 H30		
18	毛呂山町	2 健康増進に関する知識の普及啓発	町民	<p>■各種健康教室実施による健康増進に関する知識の普及啓発</p> <p>■健康増進に関する知識の普及啓発・各種健康教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肝臓がん予防教室 1回19人 ・生活習慣病予防教室 2回40人 ・運動教室 3回62人 	-	B	<p>■第2次毛呂山町健康増進計画・食育推進計画に沿った事業の実施</p> <p>■健康増進に向けた事業を実施・健康マイレージ事業の継続</p>	
19	毛呂山町	3 地域社会への参加、仲間づくりにつながる健康なまちづくりの推進	町民	<p>■各種健康事業の実施による健康なまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師による健康講座(3地区) ・町独自の健康体操の普及：DVDの配布等 ・町健康マイレージ事業による健康支援(H28~参加者2,250人) 	-	B	<p>■健康増進に向けた事業を実施・健康マイレージ事業の継続</p>	
20	越生町	1 健康づくりに関する知識の普及啓発	町民	<p>■健康づくりに関する知識の普及啓発</p> <p>○ハイキングのまちおこせ健康長寿プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 毎日1万歩運動プラス1000歩運動 毎日1万歩運動(毎日1万歩を目指してウォーキングする)と、プラス1000歩運動(普段の歩数にプラス1000歩を目指してウォーキングする)の2コースについて、初回面接・体力測定後、6か月間継続してウォーキングを実行し健康づくりに取り組んだ。 参加者実人数：41人 修了者：36人 体力測定 第1回 参加者16人 第2回 参加者16人 第3回 参加者19人 	-	B	<p>■平成28年度から、ハイキングのまちおこせ健康長寿プロジェクトとして、1年を通して生活習慣改善のためのきっかけづくりができるような運動や栄養に関する講座の提供を行っている。今後も継続予定。</p>	
21	越生町	1 健康づくりに関する知識の普及啓発 (上欄からのつづき)	町民	<p>■健康づくりに関する知識の普及啓発 (上欄からのつづき)</p> <p>(上欄からのつづき)</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康長寿講座 「若々しく身体を維持する秘訣」参加者数：61人 「高血圧を予防し、健康寿命を延ばそう賢く減塩！理論と実践～時間栄養学のススメ～」参加者数：65人 「眠りどころから」参加者数：92人 「自宅でできる簡単エクササイズ」参加者数：42人 第1回 学位編 参加者数：43人 第2回 学位編 参加者数：43人 「100歳人生から」参加者数：56人 「高血圧の疑問を解決～コロナ変わる血圧と上手につきあう方法～」参加者数：104人 「バランスアップ」食事運動教室 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 食事編 参加者数：23人 運動編 参加者数：22人 第2回 食事編 参加者数：12人 運動編 参加者数：12人 体力・元気度測定会 参加者数28人 	-	-		

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		今後の事業展開・課題等
					主な取組状況・成果 (平成30年度)	目標値と実績値の推移 計画当初 H30	
22	越生町	1 健康づくりに関する知識の普及啓発 (上欄からのつづき)	町民	■健康づくりに関する知識の普及啓発 (上欄からのつづき)		<p>(上欄からのつづき)</p> <p>3 健康づくりマイレージ事業 健康づくりに関する自己目標の設定と町が指定した健康づくり関連事業に参加し、ポイントを獲得することで、楽しみながら自主的・継続的に健康づくりが実践していく。</p> <p>平成31年3月31日現在 登録者数 2,589人 平成30年度新規登録者数 124人 ポイント達成者数 延1,763人</p> <p>○健康づくり協力委員会 ウォーキング・ラジオ体操・グラウンドゴルフ・ハイキングなど、各地区で健康づくりに関する事業を企画・実施。</p> <p>研修会：地区活動に活かせる準備体操 第1回 参加者数：13人 第2回 参加者数：12人 ○健康まつりの開催</p>	
23	越生町	2 糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防	町民	■糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防		<p>■生活習慣病の発症予防と重症化予防</p> <p>・生活習慣病重症化予防対策事業(国保)</p> <p>・生活指導完了者：2人</p> <p>・糖尿病・腎機能受診勧奨訪問事業</p> <p>糖尿病・腎臓病発症予防のため、医療機関への受診勧奨を訪問で行った。延47人</p> <p>・腎臓にやさしい食事教室 1日目 参加者19人 2日目 参加者18人</p>	C
24	越生町	3 特定健康診査・特定保健指導の実施	町民	■特定健康診査受診率 < 目標値 > 60% ■特定保健指導実施率 < 目標値 > 60%	<p>■特定健康診査受診率：41.4%</p> <p>■特定保健指導実施率：15.9%(29年度)</p>	<p>■令和元年度はAIを活用した受診勧奨を実施した。今後も継続予定。</p> <p>■電話等での勧奨を行っているが、実施率の上昇にはつながらない。また、教年間続けて利用されている方が多く、本人の参加意欲を低くする傾向にある。検診当日での特定保健指導が実施できればとは考えが、会場やマンパワー不足が課題。</p>	C

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
					主な取組状況・成果 (平成30年度)	目標値と実績値の推移 計画当初 H30		
25	鳩山町	1 東京都健康長寿医療センター 共同研究事業	町民	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命の延伸に向けた取組の展開 健康づくりサポーター養成者の増加 介護予防普及啓発事業参加者の増加 地域介護予防活動支援事業参加者及び活動者の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 健康長寿のまち鳩山ジャンボジムの開催 介護予防事業の実施(地域包括支援センター) <ul style="list-style-type: none"> さわやか健康教室 10回1コース 参加延べ人数:276人 地域健康教室 4会場 計184回 <ul style="list-style-type: none"> 参加延べ人数:10,975人 1回ずつ管理栄養士による栄養講座を行った。 <ul style="list-style-type: none"> はつらつ教室 3回1コース 参加延べ人数:131人 はあもりを使った筋力アップ体操(おもしろを使った筋力アップ体操)教室 12回1コース <ul style="list-style-type: none"> 参加延べ人数:131人 健康づくりサポーター養成講座 3回1コース <ul style="list-style-type: none"> 参加延べ人数:35人 はあもりふろあパワアアップ体操 <ul style="list-style-type: none"> 養成セミナー 8回1コース 参加延べ人数:155人 	-	A	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究事業について 保健事業と介護予防事業の一体化に向けて、高齢期だけでなく壮中年期も対象とする研究事業の展開が必要。 健康づくりサポーター等はあふふるパワーアップ体操リーダー等、担い手の養成及び活動を続けることへの意欲継続への支援方法の検討。 住民主体の活動への住民及び行政それぞれの意識転換。また、住民主体の活動を支える仕組みをどう作り、継続させていくか。
26	鳩山町	2 まめで健康21プラン(第2次鳩山町健康増進計画・鳩山町食育推進計画)の推進	町民・関係団体等・行政	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命の延伸に向けた取組の強化 計画目標数値の向上 AAA修了生による新規自主活動グループ結成 マイレージ事業目標参加者数300名達成 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりトリレニング事業の実施 AAAレニング教室 <ul style="list-style-type: none"> 協力:大東文化大学スポーツ健康科学部 参加者22名 健康マイレージ事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> マイレージ事業申込者:329名 キックオフイベント～健康ウォーカー一頂上決戦～ <ul style="list-style-type: none"> 協力:武蔵丘短期大学 参加者:107名 体力測定 協力:武蔵丘短期大学 参加者:53名 健康ウォーカーウォーキング部結成記念動画「カモンベイビー鳩山」作成 動画出演協力者:約200名 	<ul style="list-style-type: none"> AAAレニング教室 1グループ結成 はとやま毎日1万歩運動(マイレージの前身) 参加者:300人 	A	<ul style="list-style-type: none"> AAAレニング教室及び健康マイレージ事業では、様々な理由から外に出ない方も積極的に声を掛け参加に繋げること、より広く、多くの町民が健康づくりに取り組む機会としたい。
27	鳩山町	3 鳩山町国民健康保険診療ターヘルス計画の推進	町国民健康保険者	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者の健康増進及び健康格差の縮小を図る 特定健診受診率及び特定保健指導利用率の向上 特定健診受診率44.9% > 目標値 > 特定健診受診率37.8% 特定保健指導利用率37.8% > 目標値 > 特定保健指導利用率37.8% 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査・特定保健指導の実施 生活習慣病重症化予防対策事業の実施 特定健診結果及びヒアリングから選定されたハリスク者に対し、6か月の生活指導を行い、透析にならないための習慣づけを行った。開始前後で血液検査数値による効果検証を行った。事業参加者名 <ul style="list-style-type: none"> 主要4疾患(糖尿病、高血圧症、虚血性心疾患、脳血管疾患)対策事業の実施 金沢大学と連携し、町内塩分濃度測定を実施。地域別傾向によるアプローチ方法 	<ul style="list-style-type: none"> AAAレニング教室 1グループ結成 健康マイレージ事業 参加者:329人 	C	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成にむけた取組のさらなる強化が必要。未受診者勧奨もターゲットを絞り、効果的に実施する。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		今後の事業展開・課題等
					主な取組状況・成果 (平成30年度)	目標値と実績値の推移 計画当初 H30	
28	東松山市	1 若者健診・特定健康診査・後期高齢者医療健康診査・特定保健指導	市民	<p>■特定健康診査受診率・特定保健指導利用率 H28 38.8% H29 37.6% H30 37.7%</p> <p>■特定保健指導利用率 H28 14.6% H29 14.4% H30 12.0%</p> <p>①定健診受診率 38% ②特定保健指導利用率 16%</p>	<p>①37.6% ②14.4%</p>	<p>①37.7% ②12.0%</p>	<p>■R1年度の受診勧奨重点地区を含め、関係保健事業実施計画に沿った未受診者対策「受診勧奨事業」を実施する。</p>
29	東松山市	2 健康教育	市民	<p>■健康教育事業参加者の増加</p>	-	-	<p>■地域の健康課題、ニーズに合わせた健康教育を実施し、市民が生活習慣改善に取り組めるようになる。</p>
30	滑川町	1 特定健康診査・保健指導率の向上	40歳以上国民加入者	<p>■特定健康診査受診率・保健指導利用率 <目標値(R1年度)> 特定健康診査受診率 45%・特定保健指導利用率 35%</p>	<p>■特定健康診査受診率 45% ■特定保健指導利用率 35%</p>	<p>■特定健康診査受診率 40.8% ■特定保健指導利用率 28%</p>	<p>■特定健康診査受診率・保健指導利用率の向上へ向けて周知方法、指導内容を工夫していく。</p>
31	滑川町	2 健康長寿埼玉モデル「毎日1万歩運動」の実施	町民	<p>■参加者の健康維持・改善</p>	-	-	<p>■今後も同様の事業を継続していく。</p>
32	滑川町	3 埼玉県コバトン健康マイレージの実施	町民	<p>■参加者数の増加 <目標値> 更なる参加者の増加</p>	<p>280人 (平成29年度末)</p>	<p>311人</p>	<p>■今後も同様の事業を継続していく。</p>

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		自己評価		今後の事業展開・課題等
					主な取組状況・成果 (平成30年度)	目標値と実績値の推移 計画当初	H30	(A~D)	
33	嵐山町	1 特定健康診査受診率・特定保健指導の実施	40歳～74歳の嵐山町国民健康保険被保険者	■特定健康診査受診率・特定保健指導利用率 <目標値> ■特定健康診査受診率 48% ■特定保健指導利用率 20%	■特定健康診査対象者への受診勧奨 ・リーフレットや圧着はかきによる受診勧奨を実施(5月1,478人、7月2,689人、9月2,857名、11月1,092名) ・地区保健推進員を通じてリーフレット・啓発物資を全世帯に配布 ■診療情報提供事業に参加(対象者939名) ■特定保健指導利用率向上のための取組 ・施設での個別相談に加え、訪問による保健指導を実施	特定健康診査受診率 47.3% 特定保健指導利用率 16.9% (平成28年度)	A	■受診率の低い階層(40～50代、働いている世代)に対して、どのような受診勧奨が効果的か、アプローチ方法が課題。 ■訪問を実施したため保健指導利用率は向上したが、さらなる取組が必要。	
34	嵐山町	2 健康長寿埼玉モデルの実施	町民	■健康長寿埼玉モデルに基づいた教室の実施	■健康長寿を延ばそうプロジェクトの開催 ・運動教室4回、体力測定1回、計5回を1クールとし、5グループで実施(参加者延べ399名) ・参加者を対象に、血液検査・アンケート調査を実施(参加者112名)	-	B	■教室終了後も継続的な取り組みができるような支援方法の検討が課題。	
35	嵐山町	3 生活習慣病等予防のための相談・教室の実施	町民	■相談・教室の実施	■健診後の健康相談の開催 ・特定保健指導対象者以外で検査値が基準値を超える者を対象とした健康相談を年8回実施(参加者68名) ■ヘルスアップキックング講座の開催 ・骨粗鬆症予防を目的に、講座・料理教室を年1回実施(参加者18名)	-	C	■健診後の健康相談については、参加者が減少傾向にある。	
36	小川町	1 健康増進計画・食育推進計画の推進	町民	■健康増進計画・食育推進計画の各項目評価指標	■平成26年度に策定した健康増進計画・食育推進計画の進捗管理のため、健康づくり推進会議において事業実施状況や評価を報告した。 ■令和元年度に10か年計画の中間評価と合わせて自殺対策計画も策定するため、小川町健康づくり推進会議条例の一部を改正する条例制定等の準備を行った。	-	B	■健康づくり推進会議において、計画の進捗管理を行う。	

整理番号	実施機関	関連施策	対象	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		主な取組状況・成果 (平成30年度)	目標値と実績値の推移		自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
				評価の指標	計画当初		H30			
37	小川町	2. 特定健康診査・特定保健指導の実施	小川町国保40歳~75歳になる方	<p>■ 特定健康診査受診率・特定保健指導利用率 > 目標値 > 特定健康診査受診率43% 保健指導利用率48%</p>	<p>■ 特定健康診査の基本項目に加え、追加項目として、血清尿酸、血清クレアチニン、貧血検査、尿潜血検査のほか、心電図検査、眼底健診を実施した。保健指導対象者には保健指導の通知発送を行い、担当者より後日電話連絡を行い、保健指導の利用を促した</p> <p>■ けんこう大使を活用した受診勧奨ポスターの掲示(行政区长諸事業説明会、民生・児童委員定例会等にてポスター掲示依頼と受診勧奨PR)や町主催の各種教室、イベント、また町内のスーパーマーケット、町広報紙やツイッター、回覧等で受診勧奨を実施</p> <p>■ 過去に受診したことがある方に対し、電話で受診勧奨、前年度医療機関無受診者に対して個別受診勧奨、及び当該年度の未受診者に対し圧着がきによる受診勧奨通知の発送した</p>	<p>特定健康診査受診率40.8% 保健指導利用率(終了率)34.3%</p>	C	<p>■ 慢性腎臓病・高血圧の重症化予防として、引き続き健康診査項目等の充実を図り、保健指導率を確保していく。 ■ 特定健康診査等の受診率向上を目指し、地区組織と連携し、未受診者に対し受診勧奨を行う。</p>		
38	小川町	3. 健康づくりの推進と健康意識の向上	町民	<p>■ 埼玉県コハトン健康マイレージ事業の参加者数の増加</p>	<p>■ 町民の健康な身体づくりのため、「伸ばそう！健康寿命～ラジオ体操で健康づくり～」をテーマに健康講演会を実施した。 -H30 参加者数 58名 ■ 手軽に行うことができるウオーキングを推進することと健康づくりの推進と健康意識の向上を図るため、埼玉県コハトン健康マイレージ事業への参加と、小川町健康ポイント事業を実施した。 -H30 埼玉県コハトン健康マイレージ事業 参加者数 398名 -H30 小川町健康ポイント対象事業 105名</p>	-	B	<p>■ 健康づくりの推進の為、対象事業の周知を勧め、参加者を増やしていく。</p>		
39	川島町	1. 特定健康診査・がん検診の受診率の向上	町民	<p>■ 特定健康診査受診率・特定保健指導利用率の向上 < 目標値 > 特定健康診査受診率 60% 特定保健指導利用率 60%</p>	<p>■ 特定健康診査・特定保健指導の実施 ・集団健診7日間、個別健診7か月間 ・子育て中の母親が受診しやすいように託児会場を設置。 ■ 特定健康診査の受診勧奨 ・地区保健委員による戸別訪問の実施 ・特定健康診査未受診者にハガキにて受診勧奨</p>	<p>H29年度 特定健康診査受診率 49.0% 特定保健指導利用率 23.4%</p> <p>特定健康診査受診率 48.9% 特定保健指導利用率 11.9%</p>	C	<p>■ 特定健康診査受診率・特定保健指導利用率の向上</p>		

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間:平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
					主な取組状況・成果 (平成30年度)	目標値と実績値の推移 計画当初 H30		
40	川島町	2 健康づくり事業の推進	町民	■健康★筋力アップ教室及びかわべえ健康マイレージ参加者数の増加	■健康長寿埼玉モデル「健康★筋力アップ教室」の実施 ・個別運動プログラムを作成し、筋力トレーニングとウォーキング等の有酸素運動、栄養指導を実施。 ・新規者:H28年度 125人、H29年度 120人、H30年度 44人、H30年度 実施回数 52回 ・継続者:H28年度 160人、H29 180人、H30年度 176人、H30年度 実施回数 253回 ■かわべえ健康マイレージの実施(H29年度から開始) ・体験教室の参加や健診受診によりポイントを獲得、ポイント数に応じて賞品と交換。 ・賞品交換人数 H29年度 78人、H30年度 507人	-	B	■県補助金終了後の筋力アップ教室の運営方法の検討 ■かわべえ健康マイレージの参加者の増加
41	川島町	3 健康づくりに関する知識の普及 及啓発	町民	■かわべえ健康大学の参加者数の増加	■かわべえ健康大学の実施 実施回数8回 ・参加者数:H28年度 50人、H29年度 53人、H30年度 65人 ・内容:健康づくりに関する講演会(①食事、②運動、③心、④歯科、⑤みどり、⑥腎臓 他)。 ■腎対策訪問指導事業 ・e-GFR高値の方を対象に訪問指導を実施	-	B	■生活習慣病の重症化予防について知識の普及啓発
42	吉見町	1 健康寿命の延伸	町民	■健康長寿サポーターの増加 <目標値> 更なる増加 ■介護予防ボランティアの増加 <目標値> 更なる増加	■健康長寿サポーターの養成 ・CKD予防教室、骨コッ教室の実施(参加者H28年度39人、H29年度32人、H30年度24人) ■介護予防ボランティアの養成 ・介護予防ボランティア講習会の実施(受講者数H28年度22人、H29年度20人、H30年度24人)	-	B	■健康長寿サポーター及び介護予防ボランティアの増加に向け、講習等を拡大し取り組みなどで、健康づくりを目的とした活動に自主的に関わっている町民を増やす事業を展開していく。
43	吉見町	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	町民	■特定健康診査受診率・特定保健指導利用率 <目標値> ①特定健康診査受診率 60% ②保健指導利用率 60%	■特定健康診査の実施 ・個別健診(6月~12月)及び集団健診(6月~7月のうち6日間)の実施 ■特定保健指導の実施 ・集団健診の受診者に対し、結果説明会(8月のうち4日間)を行い、特定保健指導者に対しては、直営方式と委託方式で保健指導を実施した。また、未利用者に対しては電話や通知で利用勧奨を実施した。	①42.3% ②18.6%	C	■更なる特定健康診査受診率及び特定保健指導の利用率の増加に向けた取り組みの実施 ■受診環境の整備等、実施体制についても整備していく。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		自己評価(A~D)		今後の事業展開・課題等
				評価の指標	主な取組状況・成果(平成30年度)	計画当初	目標値と実績値の推移	
44	ときがわ町	1 健康診査(特定健診・若もの健診・いきいき健診)の実施	町民	■特定健診・特定保健指導の受診率向上 ＜目標値＞42.0%	■特定健診・いきいき健診は、集団以外に個別・人間ドックを実施。集団では各種がん検診、食生活調査、栄養相談などを同時実施し、魅力ある健診内容をめざし継続受診者を増やす取組を行った。	特定健診 40.9%	特定健診 40.7%	■特定健診・特定保健指導の更なる受診率向上を目指す
45	ときがわ町	2 特定保健指導率の向上	町民	■スモールチェンジ事業の継続 ＜目標値＞40.0%	■特定保健指導対象者に対し、生活習慣の改善を促すため健診後に結果報告会を実施。また、血圧が高値の人を対象に保健指導を行い重症化予防に取り組んだ。	保健指導 30.7%	保健指導 34.0%	■スモールチェンジ事業の継続にあたり、食生活調査も対象者を変えて実施していく
46	ときがわ町	3 「スモールチェンジ」活動の推進	町民	■「グッと楽！ウォーキングチャレンジ」事業の拡大 ＜目標値＞40歳～74歳国民被保険者の60%	■TOKIGAWAストレッチの普及啓発をボランティア養成して進める	-	-	■「グッと楽！ウォーキングチャレンジ」事業内容の見直しが必要
47	東秩父村	1 特定健診・若もの健診・長寿医療健診	20歳以上の住民	■受診率 ＜目標値＞40歳～74歳国民被保険者の60%	■集団の特定健診、20歳～39歳、75歳以上の住民の健康診査とがん検診、骨密度測定を同日に実施。また、健診申込書は地区の衛生委員を通じて全戸配布している。特定健診に貧血検査、心電図、眼底検査、腎機能検査(eGFR)を追加。平成27年度から特定健診・がん検診の自己負担を無料にした。	52.0%	50.5%	■保健センターが担う役割を関係部署・機関と確認をしながら、事業を継続していく。
48	東秩父村	2 特定保健指導および健診結果説明会	健診受診者	■保健指導利用人数 ＜目標値＞特定保健指導対象者の20%	■健診結果説明会と特定保健指導の実施。保健指導の対象ではない希望者にも保健指導を個別に実施。健診結果のHbA1c、血圧が高値の住民に個別訪問、電話を実施。	特定保健指導 実績：3.4%	特定保健指導 実績：9.6%	■特定保健指導の利用が伸びないことから、令和元年度は簡科衛生士による「生活習慣プログラム」を健診結果説明会で実施した。
49	東秩父村	3 心身軽やか運動教室	20歳以上の住民	■教室参加人数	■運動教室は季節ごとに開催時間を変え、「3力教室」に、「楽しく体を動かそう」「たっぷりストレッチ」「エアロビクス」、「減ら脂ま塩う(調理実習)」といった多彩な内容で実施。平成28年度から「楽しく体を動かそう」と「減ら脂ま塩う」を健康長寿埼玉モデル(筋力アップ)に組み込み、昼・夜の2コースを実施。実施後の振り返り、フォローアップにも取り組んでいる。 平成30年度の参加人数 延951人	-	-	■参加者の意向、ニーズに対応できるように、講師と連携してより魅力のある教室の運営を継続する。

経理 番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (平成30年度)		目標値と実績値の推移		自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
					計画期間:平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)	計画当初	H30			
50	坂戸鶴ヶ島 医師会	1 健康づくりに関する知識の普及 及啓発	市民 市・関係機 関	■行政機関との連携 啓発活動	■特定健診・特定保健指導の実施 ・坂戸市・鶴ヶ島市及び社会保険組合等からの委託 による特定健診・特定保健指導を個別医療機関にて 実施。生活習慣病の予防啓発を行った。 ■健康教育等への講師派遣 ・「骨粗しょう症のお話」(H31.2.6)参加者38名 ・「骨粗しょう症のお話」(H31.2.6)参加者38名 ・「放っておいても大丈夫? 脂質異常~痛くもかゆくも ない病氣~」(H30.10.6)参加者124名 川野医院 川野太郎先生 ■禁煙治療実施医療機関をホームページに掲載。禁煙 治療広報。	-	-	A	■外来診療等で特定健診受診率向上の為 の啓発活動を引き続き実施 ■関係機関との連携強化	
51	坂戸鶴ヶ島 医師会	2 糖尿病をはじめとする生活習 慣病の発症予防と重症化予防	医療・介護 関係機関	■関係機関との連携 強化	■糖尿病腎症重症化予防対策事業への協力	-	-	A	■引き続き継続して協力 ■埼玉医大CKD病診連携システムの活用	
52	坂戸鶴ヶ島 医師会	3 関連学術講演会、研修会	医療・介護 関係機関	■医療関係者の情 報提供、スキルアッ プ	■最新の医療情報の提供。健康増進に関する講演 会 ・学術講演会開催(7回) ・学術研究会開催(5回) ・循環器勉強会開催(2回)	-	-	A	■講演会・研修会等の内容の充実	
53	川越市医師 会	1 健康づくりへの協力	川越市	■開催回数/参加者 数	■市民講演会並びに健康まつり講師派遣 ・川越市主催の講演会において講師の派遣を行っ た。(2回) ■川越市健康づくり推進協議会への協力	-	-	B		
54	川越市医師 会	2 糖尿病をはじめとする生活習 慣病の発症予防と重症化予防	医療機関 市民	■実施医療機関数	■特定健康診査・特定保健指導等の実施 ・会員施設において、特定健康診査実施。(99施設) ・特定保健指導実施。(15施設) ・糖尿病重症化予防事業協力医療機関(33施設)	-	-	B	■健康づくり対策の推進にあたり、関係医 療機関と連携のうえ進めてゆく。	
55	比企医師会	1 糖尿病重症化予防のための 生活習慣改善支援プログラム事 業	県民 市町村職員 等	■管内市町村職員 等との連携強化 ■保健指導実務者 等のスキルアップ	■糖尿病重症化予防のための生活習慣改善支援プ ログラムに協力 ・指導該当者の選定・参加呼びかけを行っている。	-	-	B	■行政からの指導対象者候補が、必ずしも 腎症Ⅱ期からⅥ期の者になっておらず、Ⅰ 期の者がかなり多く候補者とされている。逆 に指導対象になるべき者が、指導対象者候 補にされていない場合もある。適切に腎症 病期を判定し、的確な指導を受けられるよう努 力する。	
56	比企医師会	2 健診後の健康相談の実施	県民 市町村職員 等	■管内保健センター 活動に協力 ■患者への相談会 参加を勧奨	■保健センター主催の特定健診後の相談会に講師 を派遣	-	-	B		

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		今後の事業展開・課題等
					主な取組状況・成果 (平成30年度)	目標値と実績値の推移 計画当初 H30	
57	比企医師会	3 シンポジウムへの参加と講師派遣	県民 歯科医師会 市町村職員 等	<ul style="list-style-type: none"> ■歯科医師会との連携強化 ■管内市町村職員等との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ■市町村主催の健康教室に講師を派遣・ポスター貼付に協力し、各種医療シンポジウム参加を住民に呼びかけている。 	B	
58	川越市歯科医師会	1 歯ッビーフェスティバル、川越市健康まつり	会員 市民	<ul style="list-style-type: none"> ■歯ッビーフェスティバルの川越市と共催による開催 ■川越市健康まつりへの参加 	<ul style="list-style-type: none"> ■歯ッビーフェスティバルを川越市と共催し、以下のようない歯科に関する啓発及び相談を行った。 ・フッ素塗布、フッ素洗口、歯みがき指導、歯の相談、歯科職業体験、8020表彰、図画、ポスターコンクール作品の展示及び優秀作品の表彰。 ■川越市健康まつりに参加し、フッ素塗布、フッ素洗口、歯の相談、歯科検診などを行った。 ・歯科検診等参加者数：868人 	B	<ul style="list-style-type: none"> ■健康づくりのイベント等を活用して、ライフステージに対応した歯科に関する正しい知識の普及啓発を積極的に行う。
59	坂戸鶴ヶ島歯科医師会	1 坂戸市、鶴ヶ島市2歳児健診	市民	<ul style="list-style-type: none"> ■坂戸市、鶴ヶ島市2歳児健診の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■坂戸市、鶴ヶ島市においては、1歳6ヶ月と3歳の中間的な時期である2歳児健診を行い、発育期である乳幼児のむし歯予防を行うとともに保護者に対して歯科保健に関する知識を普及啓発した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ■受診率の向上を図り、口腔保健の重要性を啓蒙する。
60	坂戸鶴ヶ島歯科医師会	2 坂戸市成人歯科健診	市民	<ul style="list-style-type: none"> ■坂戸市成人歯科健診の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■坂戸市成人歯科健診では前目の年齢の40歳・50歳・60歳・70歳の成人に対して歯科保健に関する知識を普及啓発した。さらに口腔衛生状態の改善を促し、口腔の健康増進を図った。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ■前目の年齢を10年に1回から5年に1回とする。 ■受診率の向上を図り、口腔保健の重要性を啓蒙する。 ■成人歯科健診の個別化を鶴ヶ島市でも開始する。
61	坂戸鶴ヶ島歯科医師会	3 歯ッビーファイルの寄贈	小学校	<ul style="list-style-type: none"> ■歯ッビーファイルの寄贈 	<ul style="list-style-type: none"> ■坂戸市・鶴ヶ島市の小学校新入生に対し口腔衛生教育を目的として歯ッビーファイルを寄贈した。 ・H29年度 1,420冊 H30年度 1,380冊 	B	<ul style="list-style-type: none"> ■各校の活用状況を把握し、活用方法を相談していく。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
					主な取組状況・成果 (平成30年度)	目標値と実績値の推移 計画当初 H30		
62	比企郡市歯科医師会	1 歯科口腔保健の立場からの生活習慣病対策と重症化防止への取組	市町村地域住民	■新しい成人歯科健診の実施・普及	■新しい成人歯科健診の一環としての成人歯科健診の実施 日本歯科医師会作成『生活歯援プログラム』を活用した新しい成人歯科健診・保健指導の実施と事業協力。 ・川島町における成人歯科健診(H25～)、東松山市における「大人のための健康歯援プログラム」事業(H27～)、吉見町における「ハバママ歯科健診」事業(H28～)、鳩山町における「健康生活歯援プログラム」事業(H29～) ・地域住民の歯と口腔の健康づくり及び自身の健康との関わりへの意識や関心を高めることができた	-	A	■特に、糖尿病の合併症であると歯周病との関わりについて、さらなる情報提供と啓発が必要であると考えられる。その観点からも、市町村における成人期における歯周疾患健診の実施が必要であり、実施に向け各市町村への働きかけが必要と考える。
63	比企郡市歯科医師会	2 管内市町村における生活習慣病対策事業への協力参加、及び歯科口腔保健の関わりについて普及・啓発	市町村地域住民	■生活習慣病対策と重症化防止	■生活習慣病と歯科口腔保健の関わりについての歯科講話等の実施 ・高齢者及びハイリスク者へ歯科口腔保健の立場から生活習慣病対策と重症化防止へのアプローチとして実施。 ・東松山市介護予防教室における歯科講話の実施((H30年1回) ・東松山市「大人のための健康歯援プログラム」における『糖尿病と歯周病予備講座』(埼玉県医師歯科連携推進会議糖尿病連携作業部会作成)の活用(H27～) ・吉見町慢性腎臓病(CKD)予防教室における歯科講話及び保健指導の実施(『生活歯援プログラム』を活用した保健指導・H28～年2回・教室への事業協力/教室開催年4回) ・鳩山町「健康生活歯援プログラム」における『糖尿病と歯周病予備講座』(埼玉県医師歯科連携推進会議糖尿病連携作業部会作成)の活用(H29～) ・比企広域市町村圏組合「介護認定審査会委員研修会」における講話の実施(H29・年1回(予定)) ・歯科講話とともに『糖尿病と歯周病予備講座』を活用するなど、糖尿病を含めた生活習慣病と歯周病の関わりについて地域住民や他職種への情報提供と普及啓発ができた	-	A	■特に、糖尿病の合併症であると歯周病との関わりについて、さらなる情報提供と啓発が必要であると考えられる。その観点からも、市町村における成人期における歯周疾患健診の実施、及び生活習慣病対策事業における歯科講話の関わりが必要であり、実施に向け各市町村への働きかけが必要と考える。 ■歯科口腔保健の立場から生活習慣病対策と重症化防止の重要性について、事業(教室)に参加された地域住民への情報提供と啓発、及び他職種への周知等が必要と考える。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
					主な取組状況・成果 (平成30年度)	目標値と実績値の推移 H30 計画当初		
64	比企郡市歯 科医師会	3 地域住民に対しての生活習慣 病と歯科口腔保健との関わり についての知識の普及・啓発	市町村地域 住民	■生活習慣病と歯科 口腔保健の知識の 普及と啓発	■市民公開講座の開催(H30・年1回(予定)) ・IRZAP健康セミナー ・対称者：地域住民、歯科関係職種、行政職員、他 講演「IRZAP健康セミナー」 講演2「高齢者のフレイル(心身虚弱)予防」 ・地域住民に対して、全身の健康と歯科口腔保健と の関わり、フレイル、オーラルフレイル予防の重要性 についての知識の普及・啓発ができたと考ええる。	A	■歯科口腔保健の立場から生活習慣病対 策と重症化防止への取組として、「栄養」と 「運動」の関わり、そして歯科口腔保健の重 要性について、さらなる多職種へ周知、及び 地域住民への情報提供と啓発が必要と考え る。	
65	川越市薬劑 師会	1 健康づくりに対する薬の役割	市民	■「薬の飲み方の 講習会への講師派 遣」 ■「川越市健康まつ り」への参加 ■地域包括ケアセン ターと協力してオレ ンジカフェなどへの 薬剤師の参加 ■介護施設などにお ける各種関連業種と の連携	■公民館、生活情報センターなどにおいて、「薬の飲 み方の講習会」に講師を派遣し、生活習慣病の知識 の普及、啓発活動を実施した。 ・薬剤師会会員派遣人数：2人 ■「川越市健康まつり」での薬の相談、指導を実施し た。 ・薬剤師会会員派遣人数：8人 ・薬の相談・指導参加者数：25人 ・地域包括ケアセンターと協力してオレンジカフェな ど地域住民に薬剤師として参加できる場を増やし た。 ・薬剤師会会員参加人数：5人	B	■高齢者社会に対応すべく、関係機関と協 力して、活動を進めていく。	
66	坂戸鶴ヶ島 市薬劑師会	1 健康情報拠点の推進	県民	■会員への研修 薬 と健康の週間の実施	■平成30年 講習会11回実施 令和元年度5回実 施 薬と健康の週間においてパンフレットの配布なら びに啓蒙	B	■講習会の内容を治療に係ることが中心と なっているが予防に重点をおいた研修も実 施し市民により啓蒙できる薬剤師の育成が 必要である。	
67	東松山薬劑 師会	1 感染症予防等に関する意識向 上のための普及啓発	県民	■市町や各種関係 団体との連携強化	■地域新型インフルエンザ対策連絡会への参加 ■学校薬剤師活動における環境衛生検査の実施(教 室内空気照度、プールの水、シツクスクール、飲料水 の検査) ■東松山市、小川町、吉見町及び嵐山町給食セン ターの衛生検査(年3回) ■学校保健委員会における感染症予防知識の啓発 ■店頭における咳エチケットポスターに掲示。咳エチ ケット・手洗いの普及 ■災害発生時の対応で役員から会員への連絡体制 構築	B	■新型インフルエンザ発生時ににおける医薬 品供給体制の整備 ■大規模災害発生時ににおける医薬品供給 体制の整備 ■緊急事態発生時ににおける連絡体制の整備 ■停電時等における連絡体制の整備	

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (平成30年度)	目標値と実績値の推移		自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30		
68	小川薬剤師会	1 健康づくりに関する知識の普及啓発	県民	■健康に関する理解	<ul style="list-style-type: none"> ■薬局で服薬指導時に生活習慣について指導 ・健康に対する意識が改善され、食事の内容が改善 ・日常生活に運動を取り入れることができた ■薬局店頭でパンフレットの配布 ・健康や薬に関する知識が向上された ■学校薬剤師による「薬の正しい使い方」の公演 ・医療用医薬品やOTC医薬品に関する正しい理解ができた ■学校薬剤師による薬物乱用防止教室の実施 ・未成年者のタバコやアルコールの害を学べた ・違法薬物の怖さや依存症について学べた 	-	-	B	■関係者が連携して継続することが重要

取組項目 2. 歯科口腔保健対策

目標 8020運動の目標達成を目指し、う蝕と歯周疾患の予防のため、乳幼児期から高齢期までのそれぞれのライフステージに応じた効果的な歯科口腔保健を推進します。また、在宅で療養する患者や老人福祉施設等の入所者が質の高い生活を送れるように歯科診療の提供及び口腔ケアの普及に努めます。

- 主な取組**
- 歯科保健に関する知識の普及啓発
 - 地域における歯科保健医療サービス提供のための連携強化
 - 歯科検診・歯周病検診、フッ化物応用等の普及啓発
 - 口腔ケアの普及啓発

<説明> 自己評価(主な取組状況・成果に対する評価。目標値が設定されている場合は、当該数値(推移)に対する評価をいう。) A:十分達成 B:概ね達成 C:やや不十分 D:不十分

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間:平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		自己評価(A~D)	今後の事業展開・課題等
					主な取組状況・成果(平成30年度)	目標値と実績値の推移 計画当初 H30		
1	坂戸保健所	1 歯科保健計画推進事業	市町職員等	■管内市町職員等との連携強化	■保健所歯科口腔保健連絡会議の開催 1回 ・地域で取り組む「口の健康づくり」について、地域の歯科医師、歯科衛生士、各市町村歯科保健担当者等が各機関の事業や地域歯科保健の現状と課題について意見交換。地域の歯科保健の課題や効率的な歯科保健事業展開のあり方などの検討を通じて、情報の共有・連携強化が図られた。	-	B	■限られた時間の中では、関係者間の討議を深めることは難しいが、関係機関が意見交換を行い、地域の歯科口腔保健の課題や今後のあり方について情報を共有することにより、歯科口腔ケアの向上を図る。 ■乳幼児の健全な歯・口腔の育成、学齢期の口腔状態の向上、成人期の健全な口腔状態の維持、高齢期の歯の喪失の防止を推進する。
2	東松山保健所	1 歯科保健計画推進事業	歯科医師会 歯科衛生士 会 管内市町村	■関係機関等との連携強化	■保健所歯科口腔保健連絡会議の開催 1回 ・地域で取り組む「口の健康づくり」について、地域の歯科医師、歯科衛生士、各市町村歯科保健担当者等が各機関の事業や地域歯科保健の現状と課題について意見交換。地域の歯科保健の課題や効率的な歯科保健事業展開のあり方などの検討を通じて、情報の共有・連携強化が図られた。 ・学童期(小・中学校の一部)のフッ化物洗口等が徐々に進められている。また、成人についても、「生活歯磨きプログラム」を導入・実施している市町村が増えている。	-	B	■関係機関が意見交換を行い、地域の歯科口腔保健の課題や今後のあり方について情報を共有することにより、歯科口腔ケアの向上を図る。 ■乳幼児の健全な歯・口腔の育成、学齢期の口腔状態の向上、成人期の健全な口腔状態の維持、高齢期の歯の喪失の防止を推進する。
3	東松山保健所	2 地域歯科保健連携推進事業の協力	県民	■普及啓発の推進	■歯科保健啓発事業の協力 2回 ・歯科医師会及び管内市町村で取り組む「歯の健康まつり」及び「市民公開講座」について、地域の歯科医師、歯科衛生士、各市町村歯科保健担当者等が互いに協力し住民への歯科保健啓発の場を設け、セルフケアとプロフェッショナルケアの重要性の理解を深めている。	-	B	■各ライフステージにおける地域の歯科保健事業の実態把握し、管内関係機関がより効果的な対策が打てるような仕組みづくりを行い、生活習慣病予防の視点を踏まえた生涯を通じて歯科保健対策を推進する。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		今後の事業展開・課題等	
					主な取組状況・成果 (平成30年度)	目標値と実績値の推移 H30		
4	川越市	1 歯科口腔保健の推進	関係団体等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歯科口腔保健関係団体との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歯科口腔保健推進連絡会議の開催 ・会議の開催 1回 ・歯科口腔保健を推進するため、関係機関と意見交換、連絡調整及び連携強化を図り、歯科口腔保健施策の総合的な取組を推進した。 	-	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関係機関等と連携した周知・啓発等の活動を実施する。
5	川越市	2 歯科口腔保健事業の推進	市民	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歯科口腔保健事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歯科保健事業の実施 ・妊産婦歯科健診(10回)、1歳6か月児健診(48回)、2歳児親子歯科健診(8回)、3歳児健診(48回)、成人歯科健診(1回)を実施した。 ■ 歯科健康教育の実施 ・ライフステージに応じた各種健康教室を実施した。 ■ 幼児のむし歯予防推進事業の実施 ■ 障害者(児)歯科保健事業の実施 	-	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ ライフステージに応じた歯科口腔保健事業を実施することにより、う蝕予防や歯周病予防の推進を図ることで、8020達成者の増加を目指す。
6	坂戸市	1 母子の歯科保健の推進	市民	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3歳児う蝕罹患率 < 目標値 > 10% 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2歳児歯科健診 ・年24回実施 	H29 13.8%	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歯科指導を個別で行うことで、個人に沿った指導をすることが出来ている。歯科教育や唾液検査の実施方法や内容について今後検討していく。
7	坂戸市	2 成人の歯科保健の推進	市民	<ul style="list-style-type: none"> ■ 成人歯科健康診査受診率 < 目標値 > 10% 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 成人歯科健康診査(40・50・60・70歳の方) ・7月～12月実施 	H29 4.7%	C	<ul style="list-style-type: none"> ■ 受診率向上のため、平成30年度よりハガキによる再動奨励を実施し、前年度から2.4ポイント上昇した。和元年度は実施期間を延長し、更なる向上を目指す。
8	坂戸市	3 歯科口腔保健推進事業	市民	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歯科健康教育参加者数 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歯科医師の講話 ・10月に1回実施 	H29 29人	C	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歯と口の健康に関する正しい知識の普及啓発のため、リーフレットの配布などを検討していく。
9	鶴ヶ島市	1 子ども(乳幼児・学童期)の歯科保健の推進	市民	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2歳児歯科健診受診率、受診者のフッ素塗布率、定期歯科健診受診率 < 目標値 > 90% 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2歳児歯科健康診査 受診率88.1% 受診者のフッ素塗布率83.4% ■ 小中学校歯科保健指導 15回実施、474人参加 	H29 29人 受診率85.2% 受診者のフッ素塗布率86.1%	C	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妊娠期からのむし歯予防のための歯科保健指導を強化していく。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
					主な取組状況・成果 (平成30年度)	目標値と実績値の推移 計画当初 H30		
10	鶴ヶ島市	2 成人期・高齢期の歯科保健の推進	市民	<ul style="list-style-type: none"> ■歯周病検診受診者数の増加。30~40代の受診者割合の増加 ■歯周病検診受診者数 ■30~40代の歯周病検診受診割合 	<ul style="list-style-type: none"> ■30~75歳の歯周病検診の実施 年9回117人受診 ■30~40代の受診者割合4.3% ■歯科医師による講話 1回 51人 ■歯科衛生士による健康教育 1回 23人 	-	B	<ul style="list-style-type: none"> ■子育て世代、働き世代である30~40歳代の歯周病検診の受診者数、受診割合の増加のため、受診しやすしい検診機会を確保する。
11	毛呂山町	1 子ども(乳幼児・学童期)の歯科保健の推進	町民	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの歯科保健事業実施による歯科保健の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの歯科保健の推進 ・10か月児健診における歯科保健指導 年11回実施 ・幼児健康診査における歯科健診及び歯科保健指導 ・1歳6か月児・3歳児健康診査、ほぼ毎日実施。 ・2歳児歯科健診で歯みがき指導、フッ素塗布(希望者)年6回実施。 ・歯科衛生士による歯科保健指導：町立の小学校4校・中学校2校。 ・子どものう蝕に関する情報(虫歯の本数の推移)をホームページに掲載した。 	-	B	<ul style="list-style-type: none"> ■各ライフステージにおける歯科保健対策を推進するために、関係機関との連携強化を図る。 ■歯科保健に関する知識の普及啓発。
12	毛呂山町	2 成人期・高齢期の歯科保健の推進	町民	<ul style="list-style-type: none"> ■成人期・高齢期の歯科保健の推進 ■歯科保健事業実施による歯科保健の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■成人期・高齢期の歯科保健の推進 ・歯周病検診(40歳以上)及び歯磨き指導：年3回実施。(H30年度実績 64人) ・歯周病予防教室：年2回実施。 ・8020よい歯のコンクールの周知・募集協力。 	-	B	<ul style="list-style-type: none"> ■各ライフステージにおける歯科保健対策を推進するために、関係機関との連携強化を図る。 ■歯科保健に関する知識の普及啓発。
13	越生町	1 歯科保健に関する知識の普及啓発	町民	<ul style="list-style-type: none"> ■歯科保健に関する知識の普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ■歯科保健に関する知識の普及啓発 ・健康まつりにおいて、歯科医師会による口腔がん検診、フッ化物洗口、ブラッシング指導及び歯科相談を実施。 ・2歳児歯科教室、1歳6か月児健診、3歳児健診において、歯科検診・ブラッシング指導を実施。 ・幼稚園・子育て支援センターで、保健師による歯みがき講座を実施。 ・健康長寿講座の実施 「100歳人生からの健康はお口から」 参加者 56人 	-	B	<ul style="list-style-type: none"> ■引き続き、歯科保健に関する知識の普及啓発を行う。
14	越生町	2 歯科検診、歯周病検診の実施	町民	<ul style="list-style-type: none"> ■歯科検診、歯周病検診の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■歯周病検診の実施 ・保健センターでの集団検診：40歳以上 ・人間地区歯科医師会第4支部の協力医療機関での個別検診：40歳、50歳、60歳、70歳の対象 	-	C	<ul style="list-style-type: none"> ■歯周病検診の受診率の向上を図る。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		計画状況・成果 (平成30年度)			目標値と実績値の推移		自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
				評価の指標		計画当初			H30			
				主な取組状況・成果 (平成30年度)		計画当初			H30			
15	鳩山町	1 歯科健診等普及啓発事業	町民	<p>■生活習慣改善に向けた意識変化</p> <p>■歯科保健に関する知識の普及啓発</p> <p>＜目標値＞健康生活習慣プログラム参加者数：年間50名</p>	<p>■健康生活習慣プログラム(1回コース)</p> <p>・口腔ケアは、心身の健康ととも生活の質を高めることにも繋がるため、これまでの生活習慣を原直し改善に向けていくための保健指導を実施。保健行動目標を設定し、参加者の意識変化を促した。</p> <p>・対象者⇒妊婦、60歳及び65歳の方、健診結果のHbA1cの値が8.6mg/Hg以上の方</p>	<p>■健康生活習慣プログラム参加者数：34名</p>	<p>■健康生活習慣プログラム参加者数：41名</p> <p>※申込み時点で51名だったが、当日キャンセルがあり参加者数が減ってしまった。</p>	A	<p>■健康生活習慣プログラム</p> <p>適宜、対象者選定基準を見直すことで、より効果的に取り組みたい。</p>			
16	鳩山町	2 口腔ケアの普及啓発事業	町民	<p>■口腔機能向上</p>	<p>■はあとふるパワーアップ教室</p> <p>・高齢期の口腔ケアは、生活習慣病の予防改善に加え、フレイル予防・介護予防にも繋がることから、認知症や糖尿病等全身疾患との関係、オーラルフレイル、口腔内を衛生的に保つ必要性とその方法等に関する内容について、一般介護予防事業の上記プログラムの中で、歯科衛生士または保健師による歯科口腔保健講座を実施した。</p>	-	-	A	<p>■繰り返し学ぶことで知識やケアの方法を身につけ、自分の生活の中に取り入れることができると考える。今後も一般介護予防事業の中でプログラムに入れていきたい。</p>			
17	鳩山町	3 地域における歯科保健医療サービス提供のための連携強化	町民	<p>■対象者をサービスに繋げる</p>	<p>■比企保健医療圏隠たきり者歯科保健医療事業</p> <p>・隠たきり等の事情により、歯科医院受診困難者を対象に、訪問歯科診療を行うもの。</p> <p>・管内市町村が協定を締結し、比企郡市歯科医師会に委託しているが、その経費を負担している。</p>	-	-	A	<p>■構成員町村における事業利用率の向上を目指し、関係機関等への周知を強化する。</p>			
18	東松山市	1 2歳児歯科健診	2歳6か月児	<p>■健診受診率の維持</p>	<p>■歯科健診、指導、フッ化物塗布を実施</p> <p>・健診受診率：H30年度 96.1%</p>	-	-	B	<p>■フッ化物の継続的応用の重要性について周知を図る。</p>			
19	滑川町	1 幼児健診における歯科検診、歯科保健指導の実施	幼児	<p>■実施回数・対象者への知識普及</p> <p>＜目標値＞2歳児歯科健診年6回他健診各年12回実施</p>	<p>■10ヵ月児健診・歯科医師による歯科講話(年12回)</p> <p>■1歳6ヵ月児健診・歯科検診・歯科保健指導(年12回)</p> <p>■2歳児歯科検診・歯科検診・歯科保健指導(年6回)</p> <p>■3歳児健診・歯科検診・歯科保健指導(年12回)</p>	<p>■実施予定回数：2歳児歯科健診年6回・他健診各年12回</p>	<p>■実施回数：2歳児歯科健診年6回・他健診各年12回</p> <p>*全数へ児の発達段階に応じた情報を提供。</p>	A	<p>■今後も同様の事業を継続していく。</p>			

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		今後の事業展開・課題等
					主な取組状況・成果 (平成30年度)	目標値と実績値の推移 計画当初 H30	
20	滑川町	2 フッ化物塗布事業の実施	幼児	<p>■実施回数・対象者の予防意識の向上<目標値></p> <p>2歳児・歯科検診にて年6回・健康フェスティバル年1回、フッ化物塗布事業実施。</p>	<p>■2歳児歯科検診(年6回)と健康フェスティバル(年1回)で歯科保健指導と併せて希望者へフッ化物塗布を実施。併せて歯科保健指導を実施した。</p>	<p>■実施予定回数：2歳児歯科検診(年6回)・健康フェスティバル(年1回)</p> <p>*フッ素塗布・歯科保健指導の実施により、予防意識向上につながっている。</p>	<p>■今後も同様の事業を継続していく。</p>
21	滑川町	3 成人歯科検診(歯周病検診)の実施	町民	<p>■実施回数と対象者の予防意識の向上<目標値></p> <p>成人歯科検診年1回</p>	<p>■成人歯科検診：広報で周知。20歳以上の希望者。歯周病検診に口腔衛生指導を併せて実施。(年1回)</p>	<p>■実施回数：年1回(H30年度実績17名)</p> <p>*健診後の口腔衛生指導での結果の解説と歯磨き指導が意識向上につながっている。</p>	<p>■今後も同様の事業を継続していく。周知方法を工夫し、歯周病のハイリスクにアプローチして予防意識を高める。</p>
22	嵐山町	1 歯科検診の実施	1歳6か月児 3歳児	<p>■受診率</p> <p>■う歯罹患率</p>	<p>■幼児健診における歯科検診の実施</p> <p>・1歳6か月児健康診査：受診率(98.9%)、う歯罹患率(0.0%)</p> <p>・3歳児健康診査：受診率(99.1%)、う歯罹患率(13.6%)</p>	<p>3歳児う歯罹患率：10%</p> <p>13.6%</p>	<p>■3歳児のう歯罹患率を上げないよう1歳6か月児健診で個別に指導していく。</p>
23	嵐山町	2. 歯科保健指導及び歯科教室の実施	9～10か月児 1歳6か月児 3歳児 高齢者	<p>■集団歯科指導(9～10か月児)</p> <p>■個別指導の実施</p> <p>・1歳6か月児、3歳児(1歳6か月児、3歳児)</p> <p>■介護予防教室等における口腔講座の実施</p>	<p>■乳幼児健診における歯科保健指導・教室の実施</p> <p>・9～10か月児(集団歯科指導の実施)</p> <p>・1歳6か月児(個別指導・フッ化物塗布)</p> <p>・3歳児(個別指導・フッ化物塗布)</p> <p>■町の介護予防事業や通いの場において歯科衛生士による口腔講座の実施</p>	<p>■3歳児のう歯罹患率を上げないよう1歳6か月児健診で個別に指導していく。</p> <p>■歯科衛生士を地域に派遣し、口腔ケアの必要性を啓発していく。</p>	
24	嵐山町	3 地域の歯科保健医療サービスの情報提供	寝たきりまたはそれ以上の方 町民	<p>■利用者数</p>	<p>■比企保健医療圏寝たきり者歯科保健医療事業を利用</p> <p>■周知・ホームページ</p>	<p>実2人、延14人</p>	<p>■利用者が少ない。利用者の増加を図るため、関係機関に周知</p>
25	小川町	1 乳幼児歯科検診及び歯科指導	町民	<p>■乳幼児歯科検診・歯科保健指導受診人数</p>	<p>■乳幼児歯科検診・歯科保健指導の実施：1歳6か月児：103人、2歳児145人(フッ素塗布も実施)、3歳児144人。</p>	<p>■フッ素塗布を2歳児のみから1歳6か月児と3歳児健診の全幼児歯科検診で実施し、虫歯予防を強化する。</p>	

整理番号	実施機関	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		評価の指標	対象	関連施策	目標値と実績値の推移		自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
		主な取組状況・成果 (平成30年度)	計画当初				H30			
26	小川町	2	歯科口腔保健推進	町民	■歯科保健事業の 取組み	■小川町歯科口腔保健推進に関する条例制定(平成30年12月)	-	-	C	■歯科保健推進の普及啓発(広報等で歯科保健に関する情報の掲載、歯科保健グッズの配布、歯科保健に関する講演会等) ■歯科検診の実施
27	小川町	3	介護予防・生活支援サービス事業	65歳以上の 方で 事業対象者 又は要支援 認定者	■教室参加への取 組み	■介護予防教室の中で実施。歯科衛生士による口腔指導。	-	-	B	■介護予防教室で歯科衛生士による口腔指導を実施。(オーラルフレイル予防)
28	川島町	1	歯科保健に関する知識の普及啓発	町民	■歯科保健に関する知識の普及啓発	■かわべえ健康大学の実施 ・1知っ得！健口習慣 ～元気の秘訣はきれいなお口から～J、講師：歯科医師 ・参加者数：48人	-	-	B	■歯科保健に関する知識の普及啓発
29	川島町	2	成人歯科健診・成人歯科保健指導事業の推進	町民	■成人歯科健診・歯科保健指導の受診者数増加	■成人歯科健診・成人歯科保健指導事業の実施 ・7月2回実施、受診者数：57人	-	-	B	■成人歯科健診・歯科保健指導事業の普及啓発と受診者数の増加
30	川島町	1	フッ素塗布事業等の実施	町民	■幼児の虫歯罹患率の減少	■フッ素塗布事業等の実施 ・1歳6か月児健診：歯科健診、個別歯科保健指導(受診率：93.8%、虫歯罹患率：0%) ・2歳児健診：歯科健診、フッ素塗布及び個別歯科保健指導(受診率：100%、虫歯罹患率：4.8%) ・3歳児健診：歯科健診(受診率：100%、虫歯罹患率：16.5%) ・町立保育園、町立小中学校においてフッ化物先口の実施	-	-	B	■幼児の虫歯罹患率の減少
31	吉見町	1	乳幼児期・学齢期の歯科口腔保健の推進	町民	■3歳児健診で1人当たりのむし歯の本数の減少 ■12歳児1人当たりの永久歯のむし歯の本数の減少	■フッ化物塗布事業の実施 ・3歳児まで保健センターでのフッ素塗布、町内保育園及び幼稚園並びに小中学校でのフッ化物先口を実施。これらの活動により3歳児のむし歯本数が平均2.76本(平成17年)から0.46本(平成30年)に減少し、12歳児のむし歯本数が平均2.49本(平成17年)から平均0.66本(平成30年)にまで減少している。	①0.43 ②0.26	①0.46 ②0.66	B	■むし歯予防についての周知啓発等を強化し取り組んでいく。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等	
					主な取組状況・成果 (平成30年度)	目標値と実績値の推移 計画当初 H30			
32	吉見町	2 成人期・高齢期における歯科口腔保健の推進	町民	■過去1年間に歯科健診を受診した者の割合の増加	■成人歯科健診の実施 1回(2日間) ・町の特定(集団)健診の日に併せて、2日間歯科健診を実施。 ■妊娠中、育児中の父母を対象にした健診の実施 3回 ・パパママ歯科健診として、妊娠中または育児中の父母を対象に歯科健診、歯周病予防のアドバイス等を年3回実施。	66.7	60.5	B	■ライフステージ毎の歯科口腔に関する周知啓発を強化し取り組んでいく。
33	吉見町	3 口腔ケアの普及啓発	町民	■生活歯ブラシプログラムの参加者の増加	■生活歯ブラシプログラム等の実施 ・標準的な成人歯科健診プログラム、保健事業マニュアルを実施。また、ポランテティア団体のO8(よいは)の会及び比企郡市歯科医師会等と協力し、歯と口の健康相談やブラッシング指導を実施。	-	-	B	■ポランテティア団体及び比企郡市歯科医師会等と連携を強化し、生活歯ブラシプログラムの参加者数の増加に向け、実施拡大等を検討していく。
34	ときがわ町	1 乳幼児健診における歯科検診、歯科指導	町民	■むし歯保有率の減少	■歯科検診 ・10か月健診：歯科衛生士による指導 ・1歳6か月児健診：歯科検診、歯科指導、歯科医師による講話 ・2歳6か月児健診：歯科検診、歯科指導 ・3歳児健診：歯科検診、歯科指導	-	-	B	■乳幼児期の歯の健康な歯の育成及び大人のむし歯保有率の減少
35	ときがわ町	2 よい歯の教室	町民	■口腔ケアの普及啓発	■よい歯の教室 ・対象：1歳6か月～9歳位まで年3回実施(7月、12月、3月) 内容：歯科検診、ブラッシング指導、フッ素塗布、健康教育	-	-	B	■乳幼児期及び学齢期の健康な口腔状態の維持の推進
36	ときがわ町	3 高齢者の歯科教室	町民	■オーラルフレイルへの理解	■介護予防事業での歯科指導 ・介護予防サポーター講座での歯の健康に関する研修会を実施	-	-	B	■健康講演会等を開催し、歯科口腔ケアの大切さや食生活の改善について理解を深める
37	東秩父村	1 よい歯のコンクール「母と子ども部門」「8020部門」、ヘルシー教室(歯科医師の講話、歯科衛生士によるエプロンサポーター等)	乳幼児と保護者、8020対象者	■適切な歯科口腔環境づくりへの動機づけ	■よい歯のコンクール後、東秩父保健所管内「歯の健康まつり」(比企郡市歯科医師会主催)に参加。	-	-	A	■保健センターが担う役割を関係機関と確認をしながら、事業を継続していく。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (平成30年度)		目標値と実績値の推移		自己評価 (A～D)	今後の事業展開・課題等
					計画当初	H30				
38	東秩父村	2 乳幼児健診における歯科検診、歯科指導、歯科相談(おばあさんの部屋)、保育園児歯科健診	乳幼児と保護者、保育園児	<ul style="list-style-type: none"> ■ 乳幼児の虫歯予防 ■ 保護者の意識啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 乳幼児健診では、歯の生え始めた6～7ヶ月児から歯科検診・指導を実施。また、1歳6ヶ月児からフッ化物塗布を実施している。乳幼児歯科相談においては、歯みがき指導、フッ化物について解説、勸奨、歯周病予防の指導を実施している。また、保育園健診時に親が希望する全児にフッ化物塗布。 	-	-	A	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保健センターが担う役割を関係機関と確認しながら、事業を継続していく。 	
39	坂戸鶴ヶ島医師会	1 地域における歯科保健医療サービス提供のための連携強化	歯科・歯科関係機関	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市町村職員・歯科医師会連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 訪問歯科は大きな課題であり、往診医、訪問歯科医も地域包括ケアシステム推進協議会を通じ、積極的に連携を図り活動している ■ 歯科医師会と連携し骨粗鬆症治療における歯科連携体制を構築 ■ 歯科医師会と連携し「ARONJ(再吸収阻害薬関連顎骨壊死)の症例検討」明海大学歯学部 口腔顔面外科学分野 I 森一将准教授 	-	-	A	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医科歯科連携用紙等を活用し情報共有をする 	
40	川越市歯科医師会	1 休日歯科診療事業、高齢者・障害者の福祉の推進を目的とする事業	市民	<ul style="list-style-type: none"> ■ 川越市予防歯科センターでの休日歯科診療の実施 ■ 社会福祉施設の利用者の歯科健康診査・歯科疾患予防のための歯科保健啓発の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 川越市予防歯科センターで日曜日、国民の休日、年末年始に休日歯科診療を行った。 ・受診者数: 176人 ■ 社会福祉施設の利用者の歯科健康診査を行うとともに、歯科疾患予防のための歯科保健知識の普及、啓発活動を行った。 ・受診者数: 301人 	-	-	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歯科疾患及び口腔機能低下のため、地域における歯科保健医療の充実に努める。 	
41	川越市歯科医師会	2 学校歯科健診事業	市民	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小学校一年生、中学校一年生に対する歯科保健指導の実施 ■ 保健主事、養護教諭に対する学校歯科保健指導者研修会への講師派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 川越市歯科医師会会員が毎年10月～12月末まで小学校一年生、中学校一年生に対しDVDやパワーポイントを使って歯科保健指導を行った。 ・歯科医師会会員従事者数: 119人 ・参加者数: 5,636人 ■ 保健主事、養護教諭に対して行っている学校歯科保健指導者研修会に講師を派遣した。 ・歯科医師会会員派遣人数: 2人 	-	-	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歯等の歯科疾患を予防するために、歯や口腔の健康に関する正しい知識を持つてよう普及啓発に努める。 	

整理番号	実施機関	関連施策	対象	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		自己評価 (A～D)	今後の事業展開・課題等
				評価の指標	主な取組状況・成果 (平成30年度)		
				計画当初	目標値と実績値の推移 H30		
42	坂戸鶴ヶ島 歯科医師会	1 歯と口の健康フェア2018	県民	■歯と口の健康フェアの開催	■鶴ヶ島市保健センターにおいて歯と口の健康フェア2018を開催した。来場児童にフッ化物塗布、また成人を含め口腔健診(口腔がん検診を含む)の実施。坂戸・鶴ヶ島両市小学校から募集したむし歯予防ポスター展を行った。 ・H29年度来場者 780名 H30年度来場者 994名	A	■来場者の増加に伴いフッ化物塗布、口腔健診の受け入れ人数の増加の必要あり。
43	坂戸鶴ヶ島 歯科医師会	2 8020よい歯のコンクール	坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・越生町在住の80歳以上の保護者	■8020よい歯のコンクールの開催	■第26回よい歯のコンクールの開催 ・20名の応募者の口腔審査を行い、後援両市長、保健所長を迎えて表彰式を行った。 ・H29年度応募者28名 H30年度応募者20名	B	■対象地域に対する周知を強化し、より多くの方へ8020達成を目指してもらえようように啓蒙を図る。
44	坂戸鶴ヶ島 歯科医師会	3 就学時健診時の歯科講話	就学児童の保護者	■就学時健診時の歯科講話の開催	■坂戸市・鶴ヶ島市就学時健診時に保護者に対しての歯科講話の開催 ・就学児童の保護者に対して歯科保健に関する知識を普及啓発し、むし歯予防を行うとともに口腔清掃技術を指導した。 ・H29年度 9校、626人 H30年度 7校、425人	坂戸市B 鶴ヶ島市D	■永久歯の萌出し始める時期に生活習慣をからむし歯予防を行うことの必要性を説明し、口腔状態の向上を推進する。
45	比企郡市歯 科医師会	1 地域住民への歯科口腔保健に関わる啓発活動	地域住民	■歯科口腔保健の普及啓発	■地域住民への歯科口腔保健に関わる啓発活動 ・第23回「歯の健康祭り」来場者475名 スタッフ94名 ・歯科健診、歯科相談、フッ化物歯面塗布の他、各種イベントを通して、口腔内の健康の重要性について有用な情報を提供し、地域住民の口腔内の健康への関心、意識の向上に寄与できたと考える。 ・「むし歯予防ポスターコンクール」の実施 ・「むし歯予防ポスターコンクール」親子のよい歯のコンクール「8020よい歯のコンクール」 ・全ての年代層に対して、生涯にわたる歯と口腔の健康の重要性について周知、啓発 ・平成30年度市民公開講座「RIZAP健康セミナー」 ※「①生活習慣病の改善を含む健康増進対策の推進」の再掲	A	■「埼玉県歯科口腔保健の推進に関わる条例」に基づき策定された「埼玉県歯科口腔保健推進計画」に掲げられている各施策の実施、指標達成に向けて、比企郡市管内の各市町村と協力して推進していく必要があると考える。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)		今後の事業展開・課題等
					主な取組状況・成果 (平成30年度)	目標値と実績値の推移 計画当初 H30	
46	比企郡市歯科医師会	2 ライフステージごとの歯科口腔保健の推進	地域住民	■ライフステージごとの歯科口腔保健の推進	<p>■乳幼児期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1,6歳児、3歳児歯科健診(法定)及び2歳児歯科健診等の実施 ・幼稚園、保育所における歯科健診等の実施 ・住民(乳幼児・小児の保護者)を対象とした歯科講話の実施 ・乳幼児期のお口の健康づくりが生涯にわたっての健康維持につながることを普及啓発。 ・東松山市子育て支援センター歯科講話(H30・年1回) ・淨川町10ヶ月児健診歯科講話(H30・年10回/年) ・吉見町子育て支援センター〇8の会サママイイベント(H30・年1回) <p>■学童期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校、高校における歯科健診、歯科保健教育活動等の実施 ・フッ化物洗口 ・埼玉県小児う蝕予防対策事業の実施 <p>■成人期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県歯科口腔保健推進計画に基づき設定。比企郡市管内市町村における健康格差是正を目的に、科学的根拠に基づくフッ化物応用(フッ化物洗口)の実施を推進。 ・妊産婦歯科健診、保健指導、保健教育の実施(東松山市) ・歯周疾患検診の実施(東松山市、川島町、滑川町、吉見町) <p>■高齢者・要介護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔機能の向上ならびに口腔衛生状態の改善を促し、歯と口腔の健康維持が全身の健康増進につながる、健康寿命の延伸につながることを啓発。 ・東松山市総合福祉エリア地域支援包括センターの一次・二次予防事業として高齢者を対象に、市内一地区において歯科講話ならびに歯科相談を実施。 	A	<p>■「埼玉県歯科口腔保健推進計画」に基づき、今後とも比企郡市管内の市町村での科学的根拠に基づきフッ化物応用(フッ化物洗口)の実施されるよう、対象市町村教育委員会をばじめ学校歯科医等による小学校への訪問・説明及び科学的根拠に基づき情報提供や継続的なサポートを行っていく必要がある。</p>
47							